

3 日本列島の誕生と大陸との交流

p.15

確認問題

- | | |
|------------------|----------|
| ■ (1) 打製石器 | (2) 縄文土器 |
| (3) たて穴住居 | (4) 貝塚 |
| (5) 土偶 | (6) 石包丁 |
| (7) 高床倉庫 | (8) 銅鐸 |
| (9) 弥生土器 | (10) 金印 |
| (11) ①邪馬台国 ②卑弥呼 | |
| (12) 大和政権 | |
| (13) 大仙古墳〔仁徳陵古墳〕 | |
| (14) 前方後円墳 | (15) 埴輪 |
| (16) 百濟 | (17) 新羅 |
| (18) 大王 | (19) 渡来人 |

解説

- (1) 氷河時代の日本は旧石器時代であった。
- (2) 縄文土器は厚手でもろく、黒褐色をしている。複雑なかざりのついたものもある。
- (4) 貝塚の分布から、当時の海岸線を推測することができる。また、貝塚からは、貝がらだけでなく、動物の骨や木の実のから、土器の破片などが出土し、当時の人々の生活を知ることができる。
- (5) 土偶は魔よけやまじないに使われたと考えられている。
- (6) このころの稲かりは、根元から取り取るのではなく、穂先をつみ取っていた。
- (7) 湿気を防ぐために高床にし、ねずみ返しというねずみの侵入を防ぐ仕組みがあった。
- (10) 「漢委奴国王」と刻まれた金印が、江戸時代に福岡県の志賀島で発見された。
- (15) 埴輪には円筒型のものや、人物・馬・家・船などをかたどったものがあり、当時の様子を知ることができる。

p.16

図表チェック

- 1 A 卑弥呼
- | | |
|---------|--------|
| (1) 金属器 | (2) 朝貢 |
| (3) 埴輪 | (4) 朝廷 |
- 2 A 縄文 B 土偶
- | | |
|-----------|--------|
| C 弥生 | D 銅鐸 |
| E 三内丸山 | F 稲作 |
| G 登呂 | H 吉野ヶ里 |
| I 大仙〔仁徳陵〕 | J 大和 |
- (1) ア、ウ、オ
- (2) 大王

解説

- 1 A 卑弥呼はまじないをよくし、人々を従えたと中国の歴史書に書かれている。
- (1) 日本には青銅器と鉄器が同時に伝わった。
- 2 E 三内丸山遺跡からは、多くのたて穴住居や、巨大な柱のあとが発見されている。
- G 登呂遺跡からは水田のあとが発見されている。
- H 吉野ヶ里遺跡は二重、三重の堀に囲まれ、守りを固めていたことが分かる。
- I・J 前方後円墳は、円墳や方墳に比べて規模が大きく、力の強い豪族がいたことをうかがわせる。
- (2) ワカタケル大王は、中国の宋（南朝）に使いを送った倭王武と同一人物と考えられている。

p.17

必修問題

- 1 (1) A たて穴住居 B 青銅器 C 鉄器
D 古墳 E 大和政権 F 大王
- (2) エ (3) 縄文文化 (4) 貝塚
- (5) ①石包丁 ②高床 ③弥生
- (6) 奴国
- (7) ①高句麗 い百濟 う新羅
え伽耶〔任那〕
②渡来人 ③イ
- 2 (1) (例) 氷河時代が終わって氷がとけ、海面が上昇したから。
- (2) (例) 倭の王としての地位と、朝鮮半島南部の軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めてもらうため。

解説

- 1 (1) B 青銅は、銅剣・銅矛・銅鏡・銅鐸などに加工された。C 鉄は、矢じりやくわの刃先などに使われた。
- (2) この土器は縄文土器である。アは須恵器、イは弥生土器、ウは埴輪の説明である。
- (7) ②渡来人はため池づくりなどの土木技術も伝え、鉄製の農具を広めた。また、大和政権で朝廷の記録や外国への手紙の作成にあたった。
- 2 (1) 氷河時代が終わるとどうなるか考える。気温が上昇し、氷がとける。
- (2) 中国の南朝の宋の歴史書である「宋書」には、倭の様子と讃・珍・済・興・武の5人の王（倭の五王）の名が見られる。倭王武が中国の皇帝に送った手紙には、祖先の功績とともに、「今度こそ高句麗を破ろうと思いますので、わたしに高い位をあたえて激励してください。」とあった。